

花巻市男女共同参画基本計画見直しにかかる

アンケート調査票

ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、平成19年3月に策定した花巻市男女共同参画基本計画が平成27年度末をもって計画期間が満了し、全面的な見直しを実施することから市民の皆様の男女共同参画に関する現状等を把握するため実施するものです。

調査の実施にあたり、市内にお住いの満15歳以上の方を性別、年齢別に無作為に選ばせていただきました。また、ご回答いただいた内容は、統計的に処理するのみで、調査目的以外に使用することはありません。

つきましては、大変お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成27年1月

花巻市長 上田 東一

ご回答にあたってのお願い

1. 回答は、必ずあて名のご本人がお答えください。
2. 記入方法、
 - (1)回答はすべて同封の回答用紙に記入してください。
 - (2)設問により、回答を1つだけ選んでいただくものと、複数選んでいただくものがありますので、あてはまる項目を選んで記入してください。
3. 返送方法
ご記入いただきました回答用紙を2月10日(火)までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投かんしてください。

【お問い合わせ先】

花巻市 総合政策部 地域づくり課
電話 24-21111 (内線 457、420)

男女共同参画に関する市民意識調査（平成27年1月実施）

1 あなた自身やご家族についてお伺いします。

1 あなたの性別

- (1) 男性 (2) 女性

2 あなたの年代

- (1) 10歳代 (2) 20歳代 (3) 30歳代 (4) 40歳代 (5) 50歳代 (6) 60歳代 (7) 70歳以上

3 あなたの職業はなんですか。

- (1) 会社員・公務員など (2) パート・アルバイト・臨時など
(3) 自営業（商工業、サービス業） (4) 自営業（農林漁業） (5) 主婦（夫） (6) 学生
(7) 無職 (8) その他

4 あなたは結婚していますか。

- (1) 未婚 (2) 結婚している（配偶者あり、事実婚も含む） (3) 結婚経験あり（離別・死別）

5 4で(2)と回答した方にお伺いします。あなたは共働きですか。

- (1) 夫婦ともに就業 (2) 夫が就業、妻は無職 (3) 夫が無職、妻が就業 (4) 夫婦ともに無職

6 あなたにお子さんはいますか。

- (1) いる（ ）人 (2) いない

7 あなたの家族構成（同居している家族）

- (1) 単身世帯（ひとり暮らし） (2) 夫婦のみ (3) 2世代世帯（親と子）
(4) 3世代世帯（親と子と孫） (5) その他

2 男女共同参画社会についてお伺いします。

問1 あなたは、男女共同参画社会という言葉を知っていますか。次のうちからあてはまる番号を1つお選びください。

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが意味は分からない
3. 言葉も意味も知らない

問2 あなたの周りでは、次の項目について男性と女性の地位が平等になっていると思いますか。
あてはまる番号を1つお選びください。

	そう思う (平等)	少し思う (まあまあ平等)	あまり思わない (少し遅れている)	思わない (遅れている)
①家庭での男女平等	1	2	3	4
②学校での男女平等	1	2	3	4
③職場での男女平等	1	2	3	4
④地域活動での男女平等	1	2	3	4
⑤法律や制度での男女平等	1	2	3	4
⑥政治や政策決定での男女平等	1	2	3	4
⑦社会の習慣やしきたりでの男女平等	1	2	3	4
⑧言葉や会話での男女平等	1	2	3	4

3 男女間の暴力についてお伺いします。

問3 DV（ドメスティック・バイオレンス）という言葉を知っていますか。次のうちからあてはまる番号を1つお選びください。

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが、意味は分からない
3. 言葉も意味も知らない

※DV（ドメスティック・バイオレンス）とは

配偶者や恋人などの親密な関係にある、またはあった人から、一方的に受ける暴力をいいます。
この暴力には、殴る、蹴るといった身体的暴力のほか、精神的、性的、経済的、社会的な暴力など様々なものが含まれます。

問4 あなたは、これまでに次のようなDVを受けたことや見たことがありますか。あてはまる番号をすべてお選びください。

1. 殴る、蹴るなどの身体的暴力(殴る、蹴る、物を投げる、突き飛ばす、首を絞めるなど)
2. 精神的暴力(大声でどなる、ののしりばかにする、脅迫する、無視するなど)
3. 性的暴力(性的行為を強要する、避妊に協力しない、無理にポルノ画像を見せるなど)
4. 経済的暴力(生活費を渡さない、借金を強要する、働きに出ることを禁止するなど)
5. 社会的暴力(自由に外出させない、交友関係を制限する、携帯電話やメールなどを細かくチェックするなど)
6. 上記1～5のDVを受けている(行っている)ところを見たことがある
7. 受けたことも見たこともない

問5 問4で1から5と答えた方に伺います。そのとき、どなたかに相談されましたか。次のうちからあてはまる番号をすべてお選びください。

1. 家族
2. 友人・知人
3. 民生委員
4. 市役所の相談員
5. 警察
6. 配偶者暴力相談支援センター（花巻合同庁舎内）
7. 市外の相談窓口（もりおか女性センターなど）
8. その他（具体的に ）
9. 相談しなかった

4 家庭生活についてお伺いします。

問6 あなたの家庭では、次にあげる家事などを主に誰が行っていますか。あてはまる番号を1つお選びください。

	主に夫	主に妻	夫婦で同程度に分担	その他の人	該当なし
①日常の買い物	1	2	3	4	5
②食事の支度	1	2	3	4	5
③掃除	1	2	3	4	5
④洗濯	1	2	3	4	5
⑤育児	1	2	3	4	5
⑥介護	1	2	3	4	5
⑦学校行事	1	2	3	4	5
⑧地区行事	1	2	3	4	5

問7 あなたは、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考え方についてどう思いますか。次のうちからあてはまる番号を1つお選びください。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

問8 一般に、男女が共に「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」の両立を可能とするためには、特にどのようなことが必要だと考えますか。次のうちからあてはまる番号を3つ以内でお選びください。

1. 給与、仕事内容等の労働条件面や昇進、昇格の機会での男女差の解消
2. 研修や職業訓練の機会の確保
3. 在宅勤務などの柔軟な勤務制度の導入や労働時間の短縮及び休暇制度の充実・普及
4. 育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備
5. 育児や介護のために退職した職員の復職または再就職が可能となるような制度の導入
6. 金銭面での支援の充実(出産一時金や育児休業・介護休業中の手当の増額など)
7. 保育・介護サービスの向上(保育・介護施設の充実や保育・介護時間の延長など)
8. 仕事と家庭生活等の両立と問題について相談できる窓口の設置
9. 「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識の解消
10. 家庭や学校における男女平等教育
11. その他(具体的に)

5 女性と職業についてお伺いします。

問9 女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。自分の考えに最も近い番号を1つお選びください。

1. 職業を持ったほうがよい
2. 結婚するまでは、職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
5. 職業を持たない方がよい

問10 女性が出産や子育てのために仕事を続けたくてもやむを得ず退職するケースがあります。女性が仕事と育児・介護等を両立していくために必要と考えるものを次の番号から3つ以内でお選びください。

1. 研修や職業訓練などの就業支援
2. 育児休業制度等の普及啓発
3. 労働時間短縮・選択制
4. 職場の理解と協力
5. 育児・介護支援施設の拡充
6. 男女ともに育児・介護を担う
7. 家族の理解と協力
8. その他(具体的に)

問 1 1 現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。あてはまる番号を1つお選びください。

1. 大変働きやすい状況にあると思う
2. ある程度働きやすい状況にあると思う
3. あまり働きやすい状況にないと思う
4. 働きやすい状況にないと思う
5. どちらともいえない

6 社会の方針決定等への参画についてお伺いします。

問 1 2 自治会、PTAなどの役職、議員や委員会等委員への女性の進出が進まない原因はどこにあると思われますか。次の中から原因として考えられる番号を3つ以内でお選びください。

1. 女性は指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある
2. 「女性はでしゃばるものではない」という社会意識がある
3. 女性の登用に対する意識や理解が足りない
4. 地域の会長や政策決定の場に出られるような女性の有識者や人材がいない
5. 男性がなるほうがいい(なるものだ)と思っている人が多い
6. 女性自身が役職に対する関心やチャレンジ精神がない
7. 女性が女性の足を引っ張っている
8. その他(具体的に)

問 1 3 男性と女性が家庭、職場、地域、政治の場などあらゆる分野に平等に参画することができる社会を実現するためには、何が重要だと思いますか。次の中からあてはまる番号を3つ以内でお選びください。

1. 制度の制定や見直し
2. 女性の積極的な登用
3. 女性リーダーの養成
4. 企業・職場への周知啓発
5. 学校や家庭での男女平等教育
6. 保育サービスの充実
7. 介護サービスの充実
8. 情報・交流拠点の充実
9. DV・セクハラ等の相談事業の充実
10. 講座や啓発資料の充実
11. 男女共同参画に関する講座等の開催
12. その他(具体的に)

7 社会活動への参加についてお伺いします。

問14 あなたは現在、仕事や学業以外に何か活動をしていますか。次の中からあてはまる番号をすべてお選びください。

1. スポーツ、趣味、教養などのサークル・グループ活動
2. ボランティア活動
3. PTA活動
4. 青少年グループの世話など青少年健全育成活動
5. コミュニティ会議などの地域活動
6. 自然保護、環境美化など地球環境を守る運動
7. 青年団体、女性団体、老人クラブなどの各種団体活動
8. 国際交流活動
9. 政党、宗教などに関する活動
10. その他（具体的に ）
11. 参加していない

問15 あなたが社会活動にもっと参加できるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあてはまる番号を3つ以内でお選びください。

1. 家族の理解と協力
2. 地域の理解と協力
3. 職場の理解と協力
4. 自分の自由時間を増やす
5. 環境や設備を整える
6. 参加するきっかけ
7. 関心と意欲を持つ
8. その他（具体的に ）